

## 各種報告

### 拡大中央執行委員会開催

9月29日、本部事務所にて拡大中央執行委員会を開催し、これまでの取り組み報告や今後の活動方針、安全問題・組織課題・政策課題・年末手当要求・評価制度等を話し合いました。安全問題では、触車事故が連続して起きたことを反省し、再発防止に努めていくことを確認、政策課題については、青函共用走行問題・税制特例等、多くの課題をJR連合と共に取り組んでいく。組織課題では、今後も鋭意に取り組む、年末手当要求については、10月中旬以降に要求書を提出。評価制度においては、多くの組合員が不安は不信を抱いているため、会社に対し、公正公平な対応を求めています。

### JR連合グループ労組連絡会

#### 第1回幹事会開催

10月2日、JR連合グループ労組連絡会第1回幹事会が大阪市内で開催され、貨物連合から、辻村事務局次長（貨物鉄産労）・山田事務局次長（南関東ロジ）が出席しました。JR連合北村グループ労組担当部長による開会挨拶後、JR連合を代表して、尾形事



務局長よりご挨拶を頂戴しました。協議事項では、  
・2019年度の主な取り組み  
・JR連合ビジョン（仮称の策定）  
・第17回分科会プロジェクトの開催  
・2020春闘の取り組み  
・第11回安全シンポジウムの開催  
・グループ各社諸労働条件比較表の精査・活用  
・ホームページの開設状況  
・今後の主な日程  
以上について、話し合いを行いました。  
貨物連合からは、これまでの取り組み・第10回貨物連合大会開催・安全問題・組織課題・期末手当の取り組み・2020春闘の取り組み等を報告しました。幹事会終了後は場所を移動して懇親会を開催し、更なる親睦を図りました。

### JR連合山梨県 早川町地域活性化ボランティア

9月28日（29日）にかけて、山梨県早川町にて「JR連合 地域活性化ボランティア」を行い、貨物鉄産労東海地区本部より柴田氏・早川氏の2名が参加しました。このボランティア活動はJR連合政策提言「地域とのパートナーシップ」に基づき2008年より毎年行われているものです。今回は全体で22名が参加し、初日は日本上流文化圏研究所の方より早川町についてのオリエンテーションが、続いて作業に関する説明をした後、各作業に分かれ、作業開始となりました。作業内容としては用水路、及び電柵周辺の除草、道路脇の除草等でした。また、作業当日は雨天の予報が出ていたものの、両日ともに天候にも恵まれ作業が出来ました。初日の夜は懇親会BBQが行われ、



地元産のワイン等を嗜み、大いに盛り上がりました。2日目のお昼には地元の方々との昼食交流会が行われ、地元の方が用意した料理に舌鼓をうちながら親睦を深めました。このボランティア活動は10年以上継続しており、今後も積極的に参加していきたいと思えます。

### 連合第16回定期大会

結成30周年を迎えた連合は、10月10（11）日、第16回定期大会を開催しました。スローガンに「私たちが未来を変える、安心社会に向けて」を掲げ、参加者は来賓・代議員・傍聴者ら1000人を超え、JR連合からは加盟各単組とともに28人が出席し、貨物連合から南関東ロジ労組3名が参加しました。冒頭、神津里季生会長より「働く形そのものが大きく多様化している今日、すべての働くものを守り、社会全体の安心を確保していくためには、集团的労使関係の確立と拡大を図り、地域で粘り強く闘い、社会の隅々まで広げ、雇われずに働く人も一緒に労働組合に集うことのできる社会を構築していかねばならない」と力強く訴えました。議事では執行部提案に対し、13人の代議員から発言があり、JR連合からは今井孝治企画部長が「働き方改革においては、労働組合が存在し、改めるべきところを労使で共有し、その方向性を継続的にチェックし続けなければならぬ」と集团的労使関係の拡充・強化について発言をし、労働組合が果たすべき役割に触れつつ、「特にJRには『安全』

という絶対的な使命があるからこそ、労働組合が組合員の声をいかに会社に届け、現場の実態を明らかにできるかが会社の命運を握る」とJR産業における労使関係の必要性を訴えました。加えて、JR産業がグループ全体の総合力で運営されていることを述べた上で、「グループ会社の隅々まで労働組合の必要性を強く訴求し、労働組合の組織化・組織拡大を加速させ、健全で強固な集团的労使関係を構築していかねばならない」と、JR産業で働くすべての仲間の「総結集」に向けた決意を示しました。  
役員選挙では、会長の神津里季生氏（基幹労連）、事務局長の相原康伸氏（自動車総連）が再任される新たな役員体制を確立。JR連合からは、荻山市朗会長が中央執行委員に選任されました。

・JR連合貸金実態調査のご協力、ありがとうございます。

・台風19号の影響により、広い範囲において甚大な被害が出ています。  
被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げ、一日も早く元の生活に戻れることを切に願っております。

被災された方々のためにも、復興に貢献できる安全で信頼される会社を築き上げ、社会的使命を果たしていきましょう。

各地区本部は組合員の被害状況を確認し、被害に遭われた組合員がいましたら、交運共済申請サポート等をよろしくお願いいたします。